



竜舌蘭



【シマ唄の授業】

学校だより
2月号
喜界町立早町小学校
令和4年2月17日

手伝いから学んだこと

校長 長田 正浩

立春（2／4）を過ぎ、暦の上では春を迎えました（気象学上は3月からが春だそうです）。今年も芳樹園（ほうじゅえん）の緋寒桜（ヒカンザクラ）が見頃となっています。近くを通られる際はぜひ御覧ください。

さて、喜界島の基幹産業であるサトウキビの収穫作業が最盛期を迎えています。今は、機械化が進み、ハーベスターによる収穫がほとんどではないでしょうか。あちらこちらでその作業の様子を見かけますし、手作業による収穫作業はほとんど見かけなくなりました。

私の実家は、サトウキビ農家でした。運搬は、トラクターで行いましたが、それ以外は手作業で行っていました。トラクターが入らない畑は、担いで運搬することもありました。多い年は200tを超えるサトウキビの収穫作業を手作業で行うので、サトウキビの収穫時期（12月～4月）の休日は、学生である私たちも畑に行き、家族総出で収穫作業を行いました。

サトウキビを切り倒し、穂の部分（スラー）とはかま（ハーマー）をきれいに落とし、束ねて、運搬する一連の作業を分担して行いましたが、かなりの重労働でした。小学校・中学校・高校とこの時期休みの日のほとんどは、手伝いをしていたように記憶しています。子ども心に、農家でない家庭の友達をとてもうらやましく思っていました。

しかし、今、振り返るとその経験が、いろいろなことに、大きく生きていたように思います。でこぼこした畑で作業したことで、体幹が鍛えられました。また、きついと思うことでも投げ出さずこつこつ取り組む精神力も、この経験で培われたように思います。さらに、キビを切り倒して山を作る作業のときは、柔道の一本背負い投げの練習だと思って作業をしていたので、得意技に磨きをかけることもできました（柔道部だったので・・・）。私の左肩の筋肉の盛り上がりは、きっとこの時期の作業で、作られたものだと思います。

小学校のときは、いやでいやでたまらなかったサトウキビの収穫作業の手伝いでしたが、中学・高校に進むにつれて、やりがいのある手伝いに変わっていきました。大学時代も春休みには必ず帰省し、1ヵ月以上は手伝いをしました。今の自分があるのは、サトウキビの収穫作業の手伝いのおかげだと言っても過言ではないと思います。

今現在、サトウキビの収穫作業を手伝わせている家庭は、ほとんどないと思います。でも、それぞれの家庭で、いろいろな手伝いを子どもたちにしてもらっていることと思います。その経験が、きっと、大人になったときに役立つことでしょう。

父の命日を前に、ふと、このようなことを思いました。

お父さんへ

お父さん。中学生になったら、じゅうどうぎを買ってね。

ぼくは、中学生になったら、じゅうどうぶに入って体をきたえろと決めました。そして、じゅうどうで日本一になりたい。

お父さんを見ているとかわいそうになります。まい日、まい日はたらいている。

ぼくも、大人になったらそんなになるのだろう。

※昨年度紹介した、私が小学校3年生の時に書いた文章からです。





1日(火)	PTA 朝の登校指導
2日(水)	クラブ活動 (反省)
3日(木)	授業参観・学級PTA・専門部会 ひまわり・たんぽぽ学級卒業・進級を祝う会
4日(金)	お別れ遠足 6年生島内修学旅行 ~5日(土)
9日(水)	委員会活動 (3年生以上)
11日(金)	B校時
14日(月)	弁護士によるいじめ防止授業4・5・6年
15日(火)	B校時 PTA 朝の登校指導
17日(木)	卒業式予行
18日(金)	移動図書回収 (全学年)
21日(月)	(祝) 春分の日
22日(火)	B校時
23日(水)	B校時 卒業式準備
24日(木)	第10回卒業式
25日(金)	修了式 離任式

スマホ・ケータイ安心安全教室



1/13(木), 昨年度に引き続き, NTT ドコモの協力を得て, オンラインでスマホ・ケータイ安全教室を行いました。福岡市からインストラクターが画面越しにクイズを行ったり, 動画でスマホゲームの危険性などについて説明したりしてくださいました。途中, 回線のトラブルで動画が止まってしまうというハプニングがありましたが, 有意義な学習をすることができました。



漢字検定に挑戦



1/14(金), 漢字検定を行いました。毎年, 児童の漢字力の向上を目指して取り組んでいますが, 保護者も数名参加されました。今年は, 例年より時期が早まったため, 対策が十分できなかった部分もありましたが, みんな真剣な表情で検定を受けていました。また, 今年は, 地域の方も2名受検されました。全員の合格を願っています。結果は, 2月下旬頃に届く予定です。

鹿児島学習定着度調査



1/18(火)及び19(水), 5年生が, 鹿児島学習定着度調査に取り組みました。2日間で国語, 算数, 理科, 社会, 質問紙に取り組みました。どの教科も基礎的な問題と活用問題がバランスよく取り入れた良問ばかりでした。1教科終わるごとに感想を聞いたところ「簡単だった。」「分からないところもあった。」とそれぞれでしたが, 子供たちの表情はやりきった感でいっぱいでした。調査結果は, 来月号で紹介する予定です。



1/21(金), 本校の特色ある教育活動の一つである「シャッフル授業」を行いました。担任がシャッフルして算数の授業を行います。管理職もちろん入ります。子供たちは, 今日どの先生がいらしゃるのか楽しみにしているようです。授業後, クラスのあちこちから「楽しかった。」という声が聞こえてきました。

第3回シャッフル授業



1/27(木), 町防災食育センターの坂元栄養教諭による食に関する授業を行いました。児童を低中高学年部に分け, 栄養教諭に3時間授業を行ってもらいました。また, 1年生の給食指導も入ってもらいました。本校の1年生の給食の様子を見て, 「素晴らしい。」とお褒めの言葉をいただきました。これからも, 食を大切に育てていきます。



栄養教諭による食育指導



1/27(木), 町防災食育センターの坂元栄養教諭による食に関する授業を行いました。児童を低中高学年部に分け, 栄養教諭に3時間授業を行ってもらいました。また, 1年生の給食指導も入ってもらいました。本校の1年生の給食の様子を見て, 「素晴らしい。」とお褒めの言葉をいただきました。これからも, 食を大切に育てていきます。



テーマ研究授業



1 / 24 (月), 6年担任の宮元教諭が本校のテーマ研究に関する検証授業を行いました。内容は, ICT を活用しながら社会科の戦争中の国民の暮らしについてまとめるものでした。児童は, 事前に戦時中の衣食住について調べる予習をしてから授業に臨み, グループごとにロイロノートにある三角チャートを使って, 事象から言えることをまとめていきました。児童は,

タブレット端末の操作に慣れており, まさに文房具として使っていました。授業研究では, 職員がロイロノートを活用し, 授業の成果や課題について意見交換を行いました。職員もまた, タブレット端末を文房具として使いこなしていました。この一年で児童も職員も大きく成長したことを感じられた研修となりました。



大きく育て！マテバシイの植樹

2 / 7 (月), 森林の適切な整備・保全を図ることを目的とした「木のあふれる街づくり事業」の一環として, マテバシイを2本, 奄美森林組合の御協力を頂き植樹しました。本校には, ドングリの木がなく, 1, 2年生が生活科の学習で困っていました。数年後には, 木が大きく成長し, 生活科の授業等でたくさんのドングリを活用することができるのではないかと期待しています。



オンライン全校朝会

2月1日(火), コロナウイルス感染拡大防止のため, 全校朝会をMicrosoft Teamsを使ってオンラインで行いました。校長室から教師用パソコンに配信し, 児童は各教室にて大型テレビで視聴することにしました。表彰式の様子や学校長の講話及びリコーダーの演奏を興味深く視聴していました。次回は, 児童一人一人の端末にも配信する予定です。

